

募集要項

1. 募集人員

100名(予定)

2. 受講料

40,000円+3,200円(消費税)計43,200円
(資料・参考書代、通信費、トライアルテスト受験料・添削料)
※2年目受講の方には割引制度があります。
後日振込用紙を送付します。

3. 参加資格

- ・ラボ・パーティ会員、公益財団普通会員・特別会員、コース・アンバサダー会員
- ・学生は2015年4月に中3、高1、高2であること
- ・本プログラムにしっかり取り組む意志があること

4. 申し込み・問合せ

所定の申込書を下記に郵送またはFAXする。
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル16階
公益財団法人ラボ国際交流センター／ブリッジプログラム係
電話：03-5324-3430 / Fax: 03-5324-3427
E-mail over_the_bridge@labo-global.co.jp

5. 締め切り

2015年4月3日(金)

6. コースの選択

ブリッジプログラムにはA、B2つの学習歴別のコースがあります。申し込みの際にどちらか選択ください。

Aコース:英文法について学習がまだ十分に済んでいない人、あるいは英語に自信がない人を対象にしています。
※中3までの基本事項を中心に学習をすすめていきます。

Bコース:英文法のほとんどの領域の学習を済ませている人が対象です。復習しながら、よりレベルの高い課題にチャレンジしていきます。
※途中でA→B、B→Aのコースは変更可能です。

2015 ブリッジプログラムの学習課題

読解／ボキャブラリービルディング／文法

Lesson	主な学習範囲	Lesson	主な学習範囲
Lesson1	●動詞と時制・完了形	Lesson5	●比較
Lesson2	●助動詞・態	Lesson6	●関係詞
Lesson3	●不定詞・動名詞	Lesson7	●仮定法
Lesson4	●動名詞・分詞	Lesson8	●まとめ


テーマ活動体験とラボ・ライブラリー体験に自信をもってブリッジプログラムに参加しよう

中高生ラボっ子は日頃意識していないと思いますが、日常的に慣れ親しんでいるラボ・ライブラリーのなかには重要な英語表現が一杯入っています。みなさんは物語を理解し、耳から英語を聴き、覚え、表現してきました。これまで無意識のうちに親しんできたライブラリー体験は英語学習にとても有利に働きます。パーティー活動やラボ・ライブラリー体験で培った力をブリッジプログラムのなかで発揮しましょう!

ブリッジプログラムは、テーマ活動体験とラボ・ライブラリー体験を具体的に英語力に結びつけるための架け橋(ブリッジ)です。

本格的に英語を理解するためには英文法もおろそかにできません。文法の仕組みや約束事がわかれば、もっと英語がわかり、面白くなります。これまでのラボ体験をもとにさらに意識的に英語に親しめば、あなたの英語力は確実に伸びて行きます。

ぜひ、ブリッジプログラムに積極的に参加し、さまざまな課題に取り組むことを通じて本物の英語の力をつけましょう!

 公益財団法人ラボ国際交流センター
〒160-0023
東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル16階
03-5324-3430

2015年度

ラボ・ブリッジプログラム

Labo Bridge Program

Invitation to the Labo Bridge Program

ラボ・ブリッジプログラムのご案内

ラボ・ブリッジプログラムは、
テーマ活動、ラボ・ライブラリーでつちかってきた
英語力と「ラボ高校留学生に求められる英語力」
とをつなぐ確かな架け橋(ブリッジ)です。



 公益財団法人ラボ国際交流センター

ラボ高校留学生に求められる英語力の獲得を目指すブリッジプログラム

1. プログラムの目的

ラボ・ブリッジプログラムは、テーマ活動、ラボ・ライブラリーでつちかってきた英語力とラボの高校留学生に求められる英語力とをつなぐ確かな架け橋(ブリッジ)です。受講生は「ラボ高校留学生に求められる英語力」の獲得を目指し、プログラムにそって学んでいきます。

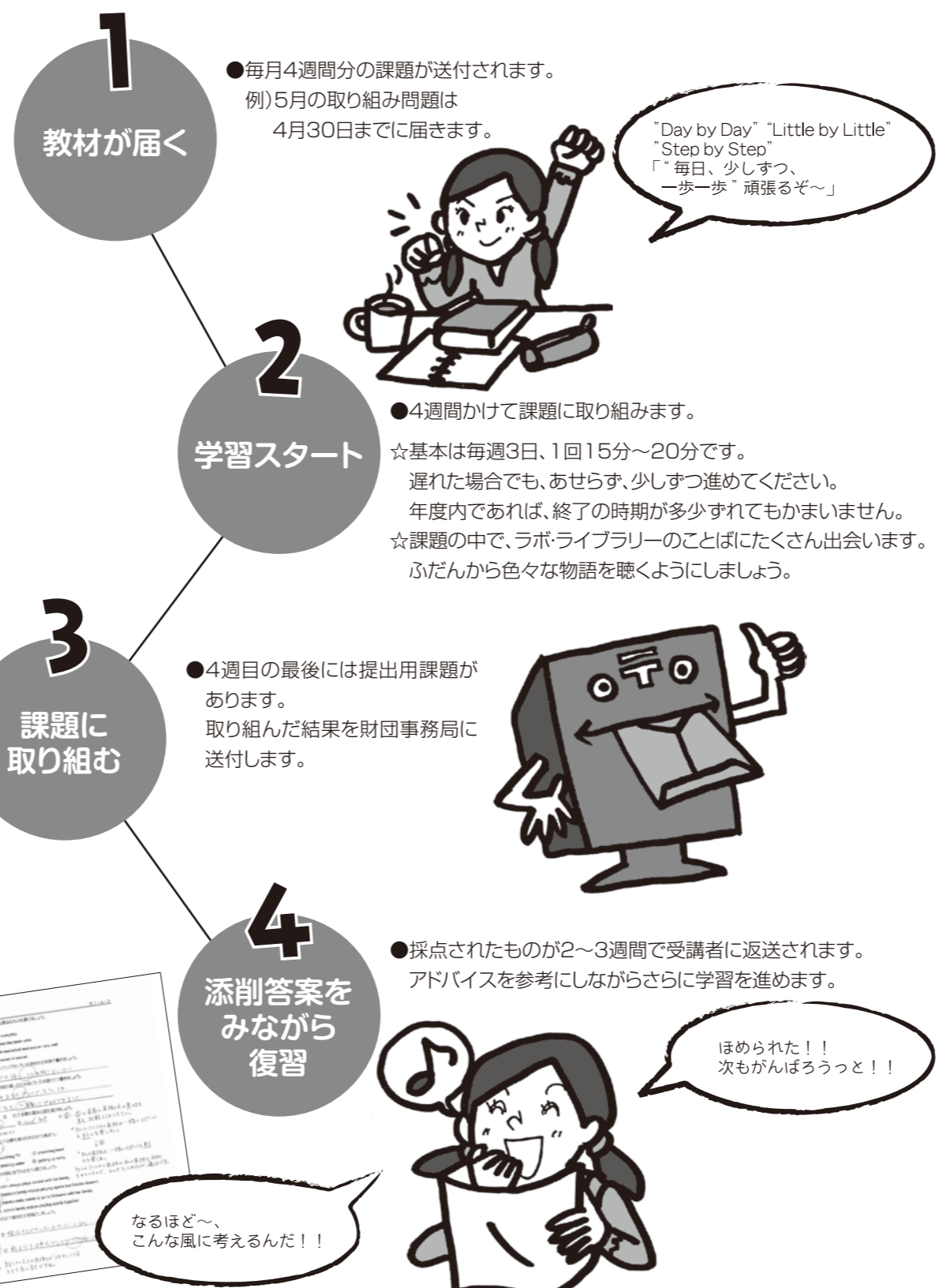
2. 期間

2015年4月～12月

3. プログラムの特徴

- 読解、ポキャブラリービルディング、文法など総合的な英語力を身につけます。
 - 取り組み内容のレイアウトや英語の文字を見やすくし、受講生が意欲的に取り組めるように工夫しています。
- ※ラボ・ブリッジプログラムは、国公立、私立の英語担当の先生の協力のもとに問題を作成し、運営をすすめています。

プログラムの流れ



●文法
 課題は<Introduction / 導入> <Workshop / ワークショップ> <Give it a Try / やってみよう>という構成になっており、この順番で取り組みます。
 文法は苦手だという人がいますが、ことばを聞く、話す、読む、書くときには、ことばの使い方のルールはとてみたいせつです。
 みなさんは英語について、たくさんの物語のなかでさまざまな単語や表現に親しんできました。ブリッジプログラムでは、テーマ活動体験、ラボ・ライブラリー体験を実際の英語力の向上に結びつけていきます。

●読解
 エッセイや小説などさまざまなジャンルから出題されますが、そのなかで、たくさんの文法事項、イディオム、単語にであいます。

●ポキャブラリービルディング
 読解や例文のなかの重要な単語やイディオムをとりあげ、ラボ・ライブラリーのなかでどのように使われているかを学びます。

その他 ELTiS TEST (ラボ高校生留学選考試験) に関する情報を不定期でお届けします。

<参考テキスト> (受講生に配付されます)
 ●「よくわかる英文法」(学習研究社刊)
 使いやすさを考えて、比較的ボリュームの少ないものを選んでいきます。参考書では不十分な項目は、「解説」でくわしく説明します。

受講生の声

- ◆ラボっ子/ラボ・チューターの感想◆
- 何気なく聴いていたライブラリーを、文法に注目してみると新たな発見ができてよかった。(ラボっ子・高1・女子)
 - 聴きこんだライブラリーの英文が勉強できたので、英語が直ぐに入ってきた。(ラボっ子・中3・女子)
 - ラボライブラリーとの関連性が想像以上に高く、楽しく取り組めたと思う。(ラボっ子・高2・男子)
 - 沢山のテーマ活動とライブラリー体験をしているラボっ子だからこそ分かる内容だなと思いました。(ラボ・チューター)

◆添削担当の先生からのメッセージ◆

ラボで培った言語感覚を大切に
 ラボの添削をしていて感じることは「日本語訳がうまい」ということです。本文をちゃんと理解していないと出てこない日本語を使って表現している例をたくさん見かけます。正確な文法知識の不足はありつつも文章を深く解釈していることにいつも感心させられます。これはきっとラボで豊かな言語感覚を磨いてきた成果だと思えます。この言語感覚をさらに高めながら、正確な英語についての知識(基礎・基本)を身に付ければまさに鬼に金棒です。ぜひ、ブリッジプログラムで英語への理解を深め、英語力をさらに磨いてください。みなさんの豊かな言語感覚に触れられることを楽しみにしています。

ラボ高校生留学プログラムを目指すには……

- 以下の結果と内容をもとに選考が行われます。(詳細は事務局にお問い合わせください)
- ・ELTiS TEST
 高校の授業を、英語で受けるために必要な「聴き取り能力」や「読解能力」があるかどうかをチェックする英語力判定テストです。文法、語法、長文、会話の理解に加え、計算やグラフの読み取り問題等、一般教養問題を含んだ構成内容です。
- ・学校の成績(英語を含む各課目の成績、出席状況等)
- ・面接/作文

●スケジュール (予定)

2015年4月～	ブリッジプログラム開始
9月	第一次選考試験
11月～12月	第二次試験
2016年1月	選考結果発表
2月～	手続き、宿舎等の準備活動
8月～	アメリカ/カナダへ・学校生活スタート

なるほど～、こんな風に考えるんだ!!

ほめられた!! 次もがんばろうっと!!